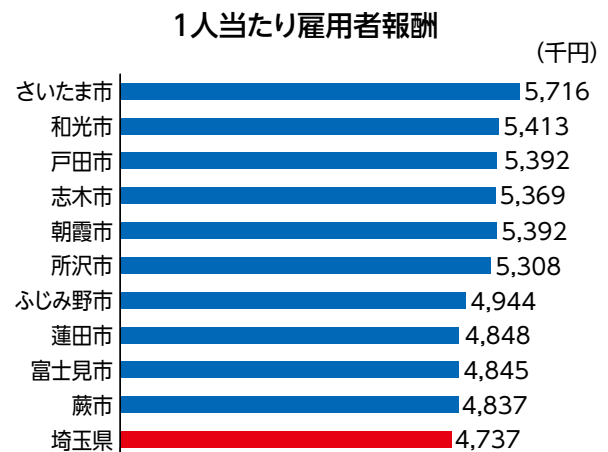
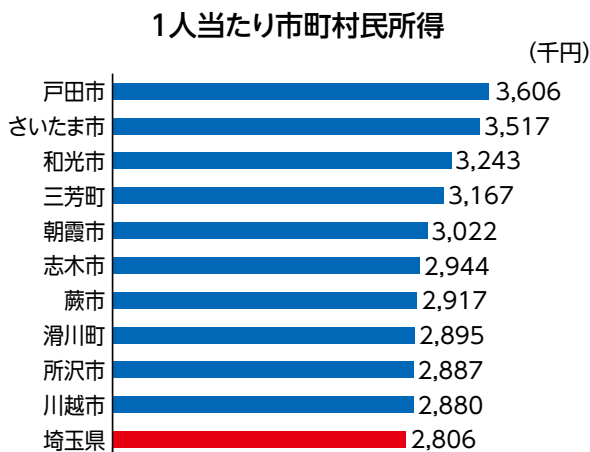
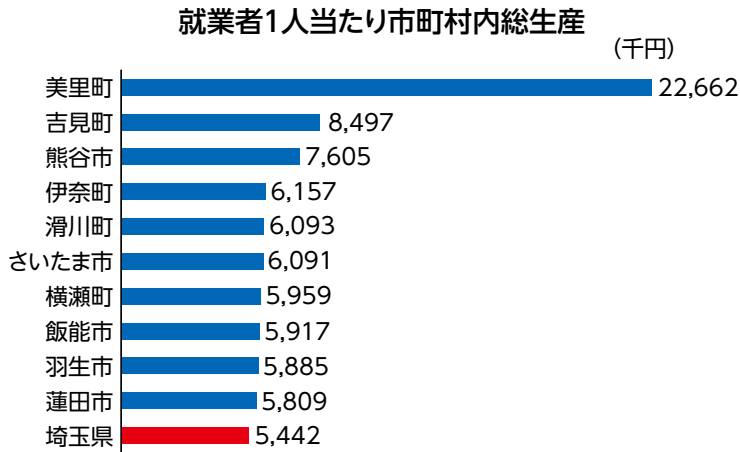


## 埼玉県の市町村内総生産(2) ～就業者1人あたりでは美里町が断然トップ～



出所：平成 24 年度埼玉の市町村民経済計算

前回では埼玉県の市町村内総生産について全体を概観しました。その結果、やはり総生産額と市町村の人口規模とは、ほぼ比例するもので、さいたま市が4兆円を超えて2位川口市の3倍以上の総生産額を記録していました。

今回は別の角度から市町村内総生産を分析したいと思います。最初は地域の労働生産性を見る就業者1人あたり市町村内総生産額です。これは美里町が22,662千円と断然トップになっています。以下、吉見町の8,497千円、熊谷市の7,605千円が続いています。県内の市町村平均が5,442千円となっていますので、美里町の生産額の大きさがわかります。

製造業の構成比の大きさが要因となっているようです。市町村内総生産の占める製造業の構成比が、美里町が85.3%、吉見町が57.9%と、県平均の17.8%とは大きな違いを見せています。次に市町村内総生産を分配面から見た市町村民所得について、1人当たりの市町村所得と雇用者1人あたり雇用者報酬の上位を見ますと県南部の市が大半を占めていることがわかります。この辺りは“埼玉都民”の皆さんの力が影響していることが推察されます。